

## 盲ろう者通訳・介助者派遣事業にかかる調査について

## 1. 調査概要

## (1)調査対象

派遣制度に登録している盲ろう者のうち、盲ろう者等社会参加支援センター(福祉情報コミュニケーションセンター)利用者等

## (2)調査方法

盲ろう者等社会参加支援センター通訳・介助者派遣コーディネーターが、盲ろう者に対面で聞き取り調査を行う。

## (3)調査期間

8月から12月

## (4)調査項目

- ①障がい程度等基礎情報
- ②外出・移動にかかる障がい福祉サービスについて

## 2. 調査結果

(1)回答件数 23人

(2)年齢

年代	人数	割合
40代	1人	4.3%
50代	4人	17.4%
60代	4人	17.4%
70代	9人	39.2%
80代	5人	21.7%

(3)回答者の令和3年度派遣実績

時間	人数	割合
～100時間	10人	43.6%
201～300時間	3人	13%
601～700時間	2人	8.7%
701～800時間	2人	8.7%
901～1000時間	3人	13%
1000～時間	3人	13%

参考：令和3年度派遣実績一部(114人)

時間	人数	割合
～100時間	49人	43%
101～200時間	12人	10.5%
201～300時間	14人	12.3%
※省略		
901～1000時間	8人	7%
1000～時間	8人	7%

(4)回答者の車椅子利用・要支援・要介護状態

区分	人数	割合
要支援	2人	9%
要介護	11人	48%
認定あり(区分不明)	1人	4%
認定なし	8人	35%
未回答	1人	4%

※回答者のうち車椅子を利用している者は5人。

(5)回答者の同行援護の支給決定

	人数	割合
51時間/月	2人	8.7%
80~85時間/月	2人	8.7%
100時間/月	7人	30.4%
時間不明	2人	8.7%
なし	2人	8.7%
未回答	8人	34.8%

※回答者で移動支援の支給決定を受けている者はいなかった。(未回答者を含む)

(6)外出・移動時に利用している障がい福祉サービス

サービス	人数	割合
同行援護と通訳・介助	12人	52%
通訳・介助のみ	5人	22%
未回答	6人	26%

(同行援護と通訳・介助の主な使い分け)

- ・事業所への通所は通訳・介助を利用 3人
- ・それぞれの支給決定時間を調整して利用 4人

(7)通訳・介助者派遣を利用する目的(複数回答)

- ・通訳・介助の内容がニーズに合っているから 8人
- ・同行援護の支援者の都合がつかないため 4人
- ・同行援護の支給時間が不足しているため 2人

(8)通訳・介助者の選定方法・主な理由

選定方法	人数	割合
コーディネート	8人	35%
自選	8人	35%
両方	2人	9%
未回答	5人	21%

(コーディネート理由)

- ・調整が面倒なため。任せておくと楽。
- ・通訳・介助者とのトラブル防止のため

(自選理由)

- ・調整しやすいため
- ・時間がかからないため
- ・決まった通訳・介助者に依頼したいため

(9)派遣を依頼する際の困りごと

(コーディネート)

- ・急な用事に対応できない 4人
- ・休日に連絡ができない 2人
- ・特になし 4人

(自選理由)

- ・いつも利用する通訳・介助者と予定が合わない 5人
- ・急な用事に対応できない 4人
- ・特になし 4人

(10)派遣事業に関するご意見(複数回答)

- ・過去に利用したことがない通訳・介助者の派遣も可能。 10人
- ・全ての派遣を2人にしてほしい 2人
- ・移動の際、身体介護をしてほしい 3人
- ・車椅子を利用する場合は2人派遣をしてほしい。 4人
- ・身体介護について今は不要だが、高齢になった場合  
(介護が必要になった場合)は2人派遣をしてほしい。 4人
- ・移動の際の身体介護は不要。 4人
- ・2人派遣の規定は今のままで良い。 6人

3. 今後の予定

- ・過去に利用したことがない通訳・介助者の派遣を促す。
- ・引き続き、機会をとらえ派遣事業に関する意見を確認するとともに、派遣制度に登録している  
盲ろう者に対し、同行援護等他の障がい福祉サービスとの併用について周知を行う。